

補強土壁工法

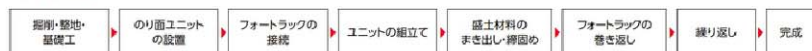
フォートラックRS工法

(緑化壁面シリーズ)

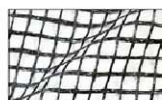
掘削土量の低減に有効です

概要 フォートラックRS工法は、壁高の適用範囲を限定し(壁高5m程度)補強材(フォートラック)と壁面材を一体化させる巻き込み形式の壁面工により、壁面材の軽量化を実現しました。補強材を密に配置することで安心感のある補強土壁を構築することができます。従来の補強土壁よりも補強材の長さが短いため、掘削土量が少なく経済性に優れます。

標準施工手順



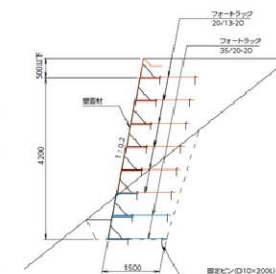
鳥取県 林道新設工事
・壁面の高さ(m):5 ・壁面の勾配:1:0.2 ・縦断壁面積(m²):87



フォートラック [▶ページ 14](#)



林道工事事例
・壁面の高さ(m):4.2
・壁面の勾配:2分



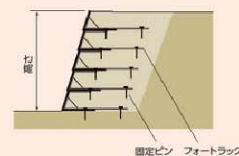
狭いスペースでの施工が可能でかつ経済的な補強土壁工

他工法と比較となり、壁面材の高さが600mmで盛土材の締固め厚が効率的な300mmで施工可能であること、壁面材に背筋(フック)が設置されるため、転圧時の変位が小さいこと、またフォートラック本体は50m巻きで資材のストックヤードに広い場所を必要としないことから採用となりました。

徳島県 林道開設事業
・壁面の高さ(m):5
・壁面の勾配:2分
・縦断壁面積(m²):780

POINT 経済性について

・上載盛土なしタイプ



・上載盛土2.0m(1:1.5)有タイプ

